

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Recurrent basal cell carcinoma treated with cryosurgery	
	論文の日本語タイトル	再発性基底細胞癌に対する凍結療法	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ17-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ I V ）	
	Pubmed ID	9216527	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Journal of the American Academy of Dermatology	
	雑誌 ID		
	巻	37	
	号	1	
	ページ	82-84	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0190-9622 eISSN: 1097-6787	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1997	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Kuflik EG	New Jersey Medical School
	その他著者 1	Gage AA	
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	再発性基底細胞癌に対する凍結療法の有用性を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	米国の 1 大学病院	
	対象者	再発性基底細胞癌 54 例 56 病巣	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	液体窒素スプレー法による凍結療法を 1 回（2 回以上の freeze-thaw cycle）	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	創傷治癒	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	再々発	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
レビューワー コメント	主な結果	病巣は全例 1～2 週で痂皮を形成し、6～8 週で創傷治癒。治療後観察期間は 5～10 年が 14 例、4 年、3 年、2 年が 4 例ずつ、1 年超が 15 例、1 年未満 9 例、フォローなしが 4 例。そのうち 2 例（3.6%）に再々発がみられ、期間は各々 3 年と 7 年であった。	
	結論	再発性基底細胞癌に対する凍結療法は、他の方法に匹敵するだけの治療成績が得られる。	
	備考	発生部位は 68%が頭頸部。再発前の治療は大半（43 例）が curettage & electrodesiccation。	
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） 再々発率が 3.6%ということであれば良好な成績といえるが、フォロー期間が全体に短い。加えて、対象症例の背景因子（部位、病型等）について詳述されていないためにそもそものリスク評価が出来ず、他の報告との比較がしにくい。	